

## 1. 概要

11/2(火)開催の「自治体クラウド推進本部 有識者懇談会」(第2回会合)においては、第1回会合での論点を踏まえ、自治体へのクラウド導入の課題について、各委員から意見を述べて頂くとともに議論を行った。

## 2. 主な意見(概要)

### (1) カスタマイズの制約について

- ✓ パッケージソフトの標準機能に係る自治体の要望項目について、現行のパッケージでほぼ対応可能。

(自治体の行政改革モデル検証中間とりまとめ、自治体クラウド開発実証事業において回答があった自治体)

### (2) アクセス管理の強化等やセキュリティ対策について

- ✓ 閉域網であれば、新たなセキュリティ上の問題は比較的少ないが、IPv6にどう対応するか検討が必要。
- ✓ 国内法が適用されない国外にあるデータセンターでは、強行法規等があるとSLAが担保されない等の課題がある。

### (3) データ構造の標準化、システム間連携について

- ✓ データ移行における各社のデータ構造や中間レイアウトの表現形式の標準化を積極的に進めるべき。(平成23年度予算要求)
- ✓ 外字の標準化についても、国が積極的に進めるべき。

### (4) クラウドへの移行にあわせた業務改革について

- ✓ クラウド導入にあたっては、行政事務手順の簡略化などを併せて進めるべき。
- ✓ インセンティブを含め、クラウドの全国導入の仕組みを構築し、オーソライズする必要がある。
- ✓ クラウド導入に併せ、行革効果を有する取組みを提言すべき。
- ✓ 個々の自治体の最適化を踏まえ、クラウド導入により社会の効率性の大幅向上に寄与するなどの姿を描くべき。